



unesco

Global Geopark

ユネスコのロゴが新しくなりました

室戸ジオパークだより Vol.78

動物カメラ撮影結果公開

「ニホンリス」「ニホンカモシカ」はカメラに写っていたのか?!

先月号でお知らせしました、春に実施した動物調査にて、室戸市内全域で3ヶ月間撮影した19カ所のカメラのうち、4カ所でニホンカモシカ、そして1カ所でニホンリスが映っていました。室戸市内で正式にニホンリスが確認されるのは初になりそうです。詳しい解説は、今回調査の中心になっている横倉山自然の森博物館の谷地森先生のコメントつきで、撮影動画とあわせて各種SNSに公開予定です。

今回カモシカが撮影されたのは「野根山街道標高945m」「吉良川町西ノ川上流標高408m」「佐喜浜川上流標高162m」「佐喜浜町立岩標高38m」。ニホンリスは「西山台地の上標高258m」です。

ニホンカモシカは『2018年高知県レッドデータブック』にて、絶滅危惧Ⅱ類（本県において絶滅の危険が増大している種）に指定されています。2010年ごろから高い標高の地域での生息情報がほとんど得られておらず、ニホンジカの増加で生息環境が悪化していることが理由となっています。分布域は県東部に限られているとのことです。

ニホンリスは県内の広い範囲で生息が確認されており、2002年には準絶滅危惧とされたものの、今のところ絶滅の心配はなく、また高知県が分布の南限になっている可能性があることから、注目種に指定されています。谷地森先生はこの『2018年レッドデータブック』改訂委員会に委員として携わっています。データブックは、高知県のHPからご覧いただけます。



座り込むカモシカ。西ノ川上流



木に頭をこすりつけるカモシカ



西山台地の上で撮影された2頭のニホンリス

環境の日

(World Environment Day)

6月5日環境の日は環境保全に対する関心を高め啓発活動を図るための国際的な記念日です。

私たちは環境保全活動を積極的に行っています。今年の環境の日には佐喜浜町で清掃活動が行われました。日常的に食べ残しをしない、ビニール袋を貰わないといった小さな積み重ねが環境を守る第一歩となります。「毎日を環境の日」にしませんか?



FM高知「FEEL THE REAL」にて室戸高校特集!

6月29日から5週にわたって室戸高校の取り組みを紹介したラジオ番組。室戸ジオパークのFacebookでもお知らせしましたが、みなさんお聞きになりましたか? 第1週目に登場した橋本くるみさん(3年)は、1年生の頃から防災活動に取り組んでいます。その活動をサポートしている室戸ジオパークも、一緒にラジオ出演させていただきました。これまでの活動、クラブ活動、将来の目標を楽しく紹介しました。



ラジオ出演中の橋本さん(右)

すばらしい砂甲子園予選突破! 「室戸岬の斑れい岩の砂」高知県代表に

JAMSTEC(国立研究開発法人海洋研究開発機構)主催の50周年記念行事「すばらしい砂甲子園」が開催されています。「すばらしい砂=最強の砂」を決定するために全国の砂と砂が戦う超新感覚室内実験の格闘競技。室戸高校×室戸ユネスコ世界ジオパーク合同チームの「室戸岬先端の斑れい岩の砂」が見事予選の書類選考を突破。高知県代表に選ばれました試合は毎週金曜日正午からYouTube配信されています。気になる試合状況は右記のQRコードからご確認ください。



「斑れい岩」



ガイド養成講座基礎編を開催しました

ガイドになるためだけじゃない！養成講座ではこんなことを学びます。

養成講座では、ジオパークガイドに必要な基本的な知識はもちろんのこと、室戸を素敵に紹介するためのノウハウが詰め込まれています！今回は、そんな養成講座の中身を簡単にご紹介します。

基礎編では、まずはジオパークに欠かせない「ジオ(地球)」について学習。地球の動きの中で形成された室戸の大地の特徴が、地表で気象・植生・文化などさまざまなことに影響を及ぼし、「室戸」を形作ってきたこと。そんな室戸の大地と、その上で暮らす人々の暮らしや文化についてクローズアップして学習しました。さらにそれを「ジオストーリー」として分かりやすく伝える(通訳する)方法を学び、実際にガイドとして活躍されている方をゲストに招き直接お話を聞ける機会も。受講者の多くは「室戸について学びたい」という理由で今回の講座に参加。中には復習のために講座に参加する人も。

室戸ジオパークについての知識だけでなく、室戸市民として室戸について深く知る機会となりました。次号では、サイエンスカフェとインストラクター養成講座の様子を紹介する予定です。



防災学習の申し込みが増えています

6月上旬、県内の中学校1校、県外の小学校1校にジオパークの環境・防災学習プログラムを実施しました。プログラムでは、室戸世界ジオパークセンター、室戸岬、津波避難シェルターの3ヶ所を訪れ、体験を通して大地の活動を理解し、自然災害との向き合い方を考えます。

室戸岬を初めて訪れた子供たちは、見たことのない不思議な形の岩やアニメに出てきそうな大きな木に驚きます。室戸岬でなぜこのような光景を目にすることができるのか、ジオパークのガイドより紹介します。大地が

隆起している証拠を目の当たりにした後は、ジオパークセンターに向かい、参加者が暮らしている場所はどういう土地の成り立ちで、過去にどんな自然災害が起きているか、地球科学の専門員からの解説で学びます。最後の見学地は日本で唯一の津波避難シェルターです。重い扉や長い螺旋階段に驚き、盛上りながら、ここに津波シェルターが作られたワケを知ります。このプログラムを通して、日本の室戸を例に、大地と人の繋がりを知ってるからより感動できる、より災害に備える気持ちになる、そんなきっかけをつくっていきたいです。秋までに10校以上のお申し込みをいただいております、津波避難シェルターを案内する有償のガイドさんも募集中です。

夏休み自由研究お助け！まがいらボ

☆自分だけのマップを作ろう！無料 ※要予約 8月8日・15日・22日(対象年齢小学3年生以上)

今回のまがいらボでは、地理の専門家、中村さんがみなさんの自由研究をお助け！夏休みの自由研究に、自分だけの地図をつくってみませんか？地図を上手に使うって自分の町を調べてみよう！（担当：中村）

☆カラフル地層キャンドルづくり

体験料500円/1個 8月1日・9日・14日・21日・28日 10時～15時30分

いろいろな色の砂を使って、カラフルな地層キャンドルを作ってみませんか？
作ったキャンドルは持って帰れます。（担当：海老川）



☆夏休みギリギリ自由研究お助け薄片教室～研究者のオシゴト～

体験料1000円/1組 ※要予約 8月29日 日曜日(対象年齢4年生以上、定員8組)

実際に研究者が使っている実験器具を使って、専門家と一緒に薄片作りとその観察をしてみよう！

「薄片」って聞いたことがありますか？専用の実験道具を使って、石をうすくしたものです。

研究者の人たちは石から薄片を作って、専用の顕微鏡で調べています。できあがった薄片は持って帰れます。詳しくはQRコードをチェック！（担当：小笠原）



※詳しくは室戸ジオパーク推進協議会ホームページをご確認ください。
お問合せは下記連絡先まで。



発行：室戸ジオパーク推進協議会

【電話】0887-22-5161

【Eメール】info@muroto-geo.jp

【住所】〒781-7101高知県室戸市室戸岬町1810-2（担当：和田也実）